

## 令和5年度 日本語学習支援者講習会 【外国にルーツをもつ子どもの支援コース】第3回までの様子

### 第1回 【入門編】地域日本語教室ってどんなところ？(6/17 開催)

講師:岐阜県日本語教育総括コーディネーター <sup>あんどう</sup> <sup>いくみ</sup> 安藤 郁美 氏

参加者:15名

[参加者アンケート抜粋]

- ・ 日本語教室とはどういう場所なのか、全く分からず参加したが、経験者の話を聞くことができ理解を深めることができた。
- ・ 日本語教室で活動中だが、「地域日本語教室はどんなところ？」という問いかけに、改めて考えさせられました。よかったです。



### 第2回 外国にルーツをもつ子どもの現状と背景/地域の教室でできること(6/24 開催)

講師:NPO法人可児市国際交流協会 事務局長 <sup>かかむ</sup> <sup>まゆみ</sup> 各務 真弓 氏

参加者:22名

[参加者アンケート抜粋]

- ・ 実際にあったことをもとにして話をされて、本当に考える事が多くて有意義だった。
- ・ 背景を知って、それに合わせて支援するという事はなんとなく分かっていましたが、その背景の部分を詳しく知ることができました。
- ・ 外国籍の子は一括りではなく、一人一人の養育歴等背後に隠れている情報が大切だと思った。



### 第3回 子どもの日本語学習支援をする上で大切なこと(7/1 開催)

講師:NPO法人可児市国際交流協会 事務局長 <sup>かかむ</sup> <sup>まゆみ</sup> 各務 真弓 氏

参加者:21名

[参加者アンケート抜粋]

- ・ 自分の立場を振り返って考えなおすきっかけになりました。本日の資料を家でもう一度読み直し、今後役に立てていきたいです。
- ・ 直接法での体験(ポルトガル語によるポルトガル語の授業)、パニックになりました。日本語の話せない外国人の子の気持ちを察することができました。

